

女性の活躍推進に関するアンケート結果概要

1 企業、団体における女性の就業（採用、再雇用、配置・育成、職域拡大、就業継続、管理職への登用など）について

○状況や課題

採用、再雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・本会に限っては、毎年応募を行っているわけではないが、応募を行った際は半数以上女性からの応募があり、採用に際しては男女の区別なく採用選考している。実際、女性の採用も多く、活躍している方も多く、管理職についている方もいる。〈中小企業団体中央会〉 ・建設業協会アンケート結果（回答率 76%）より、最近1年間で女性職員を採用した社 20.4%、採用総数 124 名（技術者 18.5%、技能者 5.9%、事務職 75.6%）、「昨年9月より女性従業員が増加した」11.7%、「減少した」2.9%、「増減なし」85.3% 〈建設産業団体連合会〉 ・女性教員、特に自然科学系分野の女性教員が少ない。〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・定年退職者を対象に、再任用制度により雇用継続を図っている。長年にわたり業務に携わってきた経験・知識を人材育成に役立てている。〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉
配置・育成、職域拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・女性自身が研修（マネジメントスキル）の受講が少なく、さらに異業種間交流がない。スキル向上が必要。〈経営者協会〉 ・通常の研修に女性を参加させる習慣が少なく、又、そのためか参加意欲も少ない。〈経営者協会〉 ・商工会の女性職員の多くは、経理・庶務業務と事業者の経営支援に関する補佐的な業務を行っており、結婚育児期間を経て長年勤務する職員が多数を占めている。一方、最近は経営指導員に就く女性職員も増えてきており（女性9人／県下114人）、創業支援や経営革新等にも積極的に関わっているが、時間外労働となることも多く、女性の希望者は少ない。育児・家事との両立が希望者を減らしていると思われる。〈商工会連合会〉
就業継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子を持つ既婚女性がフルタイムで働くことを希望する割合が高いにもかかわらず、実際に働くことのできるケースがはるかに少ない。〈私立短大協会〉 ・出産・育児休暇の受入体制として専門職の産休代替者の確保が難しい。〈私立短大協会〉
登用	<ul style="list-style-type: none"> ・経理・庶務的な業務を行う女性職員が多く、結婚出産後も継続して就業しており、女性管理者（2人）が出始めている。〈商工会連合会〉 ・県下JAの女性職員の登用割合（主任以上）の平均は7.1%（主任、係長、課長、支所長の割合）〈JA長野中央会〉 ・事務系の管理職の女性、女性の評議員が増えた。大学役員として、理事及び監事に女性を登用した。〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・教員、職員とも特に課題はないと思われる。職員の場合は、女性の管理職も多く採用についても今のところ問題はない。〈高等教育コンソーシアム信州〉

登用	<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員のうち女性教員が占める割合や事務系管理職のうち女性管理職が占める割合が少ない。〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・3つの学科（幼児保育学科、介護福祉学科、看護学科）があるが、学科長はすべて女性が占めている。また、教授、事務局の管理職は、男性7名、女性12名となっている。〈私立短大協会〉 ・教員の約4割は女性で、センター長など管理職への登用がある。資格審査上、研究業績が求められるので、研究時間の確保が課題である。〈私立短大協会〉 ・職員の約5割が女性であるが、課長職以上の登用はない。職場内の意識改革、登用システム、育成プログラムが課題である。〈私立短大協会〉 ・女性の教職員が多く、教員には管理職もいる。事務職には管理職はいないが、今年度から女性の係長が3名になった。女性の就業意欲、昇進意欲を喚起するため、職場環境とシステムづくりが重要となる。〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉 ・労働条件や職場環境の整備など、誰もが安心して長く働くことができる職場づくりには、労使による現場実態を踏まえた協議・話し合いが必要であり、女性が働きやすい職場は男性も働きやすい職場であるという考えのもと、あらゆる協議の場に女性の視点を反映させるために、労働組合においても女性役員を増やす・女性組合員の参画を促す取り組みを行っているが、女性組合員が少ないことや、勤続年数が短いこと、仕事と家庭との両立の難しさなどから、労働組合における女性役員の登用は進んでいない現状である。女性組合員比率 約3割、女性役員を選出している構成組織 約4割（2014年調査3割）、構成組織における女性役員比率 13%（2014年調査 12%）〈連合長野〉
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における女性が働きやすい環境整備は、経営者の考え方によるところが大きい。女性の意識改革も必要。（職域の拡大、管理職への登用を望まない女性もいる。）〈商工会議所連合会〉 ・女性自身の意識と家族の理解が課題 〈連合婦人会〉 ・女性活躍推進へ取組の必要性をより多くの県民に知ってもらい、気運を高める必要がある。一般事業主行動計画の策定義務のない事業所等へも理解・協力してもらうよう、「女性活躍推進法」の趣旨を効果的に周知することが課題である。〈市長会〉

○課題解決のための取組の好事例やアイデア

採用、再雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・再雇用のための研修会の開催 〈連合婦人会〉 ・部局ごとの女性教員比率の目標値設定、女性限定公募など積極的な女性の採用（女性教員比率 H23：11.9%→H28.5：15.9%）〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・派遣職員として採用した職員の中から、複数名について専任職員（正社員）として採用し、各人のもつスキルを活かしてもらい、女性の社会進出や地位の向上支援を図っている。〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉 ・大学連携人材登録バンクのような制度 〈私立短大協会〉
配置・育成、職域拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、女性という性別による差別はいっさい行っておらず、能力主義・適材適所を心がけた人事を行っている。〈私立短大協会〉

配置・育成、職域拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・能力や技能が優れた人は、男女を問わず適正な評価がされ、適正な評価のもと、人材育成計画をつくる、環境・システム整備が必要〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉 ・人材育成、リーダー養成講座の開催（意識啓発、労働関係法・自社就業規則など学習）〈連合長野〉
就業継続	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業制度（子の3歳の誕生日の前日まで取得可）、短時間勤務制度（子の3歳の誕生日の前日まで1日2時間以内短縮可、減給なし）、事業所内保育園（生後8週後～3歳まで）、メンター制度導入、大学入試センター試験時のキャンパスでの一時保育、ベビーシッター育児支援制度（小3までのベビーシッターサービス利用料金一部負担）〈高等教育コンソーシアム信州〉
就業継続	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内保育施設設置やベビーシッター活用制度の充実〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・短時間・フレックス・在宅勤務制度の充実〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・男性の育児及び介護参加の推進〈私立短大協会〉 ・子育て中の教員については、独自または市内高等教育機関連携の保育室の設置〈私立短大協会〉 ・イクボス・温かボス運動をそれぞれの立場で推進する。〈連合婦人会〉 ・育児休職からの職場復帰時におけるセミナー・説明会開催〈連合長野〉 ・家庭的責任を有する女性役員・組合員が参加しやすくするための工夫（会議開催日、時間、開催日の決定、会議内容の事前周知、集会開催時の託児所設置）〈連合長野〉
登用	<ul style="list-style-type: none"> ・係長以上の指導的立場の事務職員に占める割合を30%にする目標を掲げ、「職員ポートフォリオ」の運用を開始し、職員が自らこれまでの業務経歴をもとに振り返り、今後のキャリア希望などを描くことを可能とする。併せてキャリア形成面談を実施予定。〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・職員は、上長との面談による意識付けを実施し、極力管理職に登用する。部下の指導、責任ある仕事をまかせ定期的に振り返りを行う。希望者による学内プロジェクトの実施。（施設活用や大学PRなど）〈私立短大協会〉
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法、雇用のルールや助成制度などについて説明会を行う。〈商工会議所連合会〉 ・会員企業、団体等に対して、ホームページや機関誌において男女雇用機会均等法について広く周知している。〈中小企業団体中央会〉 ・建設業協会では、平成27年に女性部会を発足させ、女性がやりがいを持って活躍できる建設業の実現を目指し、県下各支部の女性技術者などが中心となり、女性が生き生きと働けるためのネットワークの構築や建設現場に女性が積極的に参加し、活躍できるよう工事現場見学会を開催している。〈建設産業団体連合会〉 ・県は「多様なライフスタイルが実現できる信州をめざして」を基本目標として、「あらゆる分野で女性が活躍できる社会の実現」を目指す姿として取り組んでいる。女性活躍の推進が企業の活性化や地域振興、県民の豊かな生活等にメリットがあることを知ってもらうためにイメージポスターやチラシを作成し、市町村や関係団体を通じて県民や事業所等に配布できたらよい。〈市長会〉 ・女性活躍推進法に基づく事業主行動計画や次世代育成法行動計画の策定など企業との協議の場に、女性役員が参画し、女性の視点から意見反映を行う。〈連合長野〉

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・各種労使での話し合いの場（労使協議・労使委員会・安全衛生委員会）において女性役員・組合員が参画し、職場の課題改善を行う。（乳がん子宮がん検診の受診率向上、妊婦が就業しやすい環境づくり、洋式トイレ・女性専用休憩室の設置など）〈連合長野〉 ・男女平等に関するセミナーの開催〈連合長野〉 ・女性が興味を持つような情報発信の工夫〈連合長野〉 ・組織のトップ宣言〈連合長野〉
----	--

○行政の施策への提案

採用、再雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・本会は、連携大学等があり、学内面接会や企業説明会を実施している。県内外の女子大学や短大と連携しての説明会等を行ってはどうか。〈中小企業団体中央会〉 ・再就職希望者への合同企業説明会の開催〈私立短大協会〉
就業継続	<ul style="list-style-type: none"> ・女性特有の悩み等の相談や話のできる場や環境の整備〈建設産業団体連合会〉 ・事業所内の託児所の運営に対する助成金の拡充〈高等教育コンソーシアム信州〉 ・良質な子育て・介護の支援サービスの充実〈私立短大協会〉 ・テレワーク等の促進〈私立短大協会〉 ・女性が安心して働ける環境整備、助成等が必要〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉 ・男性の育休（出産休）の提案〈連合婦人会〉
登用	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職登用のための育成プログラムと教育講座等を開催〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉 ・女性登用補助金〈私立短大協会〉
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、女性活躍に対しての企業説明会の開催等、啓発していく。企業も含めた意識改革が進むまで、継続的に実施する。〈経営者協会〉 ・多くの女性が現場で活躍している姿を多くの人に知ってもらいたい。〈建設産業団体連合会〉 ・小中学生のうちから建設業について学ぶ場の整備〈建設産業団体連合会〉 ・市町村の男女共同参画推進の施策に生かすため、労働局や県労働雇用課が取り組んでいる女性活躍に関する情報や課題を市町村担当部局と共有できる仕組みがほしい。〈市長会〉 ・職場の風土改革〈私立短大協会〉 ・講演会や研修会、情報発信（HP、メールマガジン）による活躍事例紹介、交流会の実施〈私立短大協会〉 ・現場の声の吸い上げ・労使による協議・話し合いが重要というトップメッセージの発信や機運醸成〈連合長野〉 ・中小・小規模企業経営者・労働者を対象としたセミナーの開催〈連合長野〉 ・行政と中小業経営者との横のつながり〈連合長野〉 ・多くの人に興味を持ってもらえる情報発信の工夫〈連合長野〉

2 今後、女性活躍推進会議で話し合いたいテーマや内容、会議の取組へのご意見等

就業継続	<ul style="list-style-type: none">・産休・育休が当たり前に取れる社会となるためにどうあるべきかを広く話し合う。〈建設産業団体連合会〉・在宅勤務の導入、家族の状況を考慮した勤務地選択 〈高等教育コンソーシアム信州〉・子育てだけでなく、高齢化社会における介護の場面でも女性の負担は大きくなり、就業に支障をきたすことが考えられる。子育て支援とともに今後は介護しながら働ける支援の取組を期待したい。〈高等教育コンソーシアム信州〉・育児休業、介護休業の取得状況調査、促進策 〈私立短大協会〉・女性の働きやすい職場環境の事例紹介 〈私立短大協会〉
全般	<ul style="list-style-type: none">・本学では今年度2人の男性教員が育児休業を取得、環境ツーリズム学部では女性が学部長となったことで、男性教員も育児休業の申請をしやすい環境になったともいえる。このようなイクメン、イクボス、女性管理職など、女性の活躍を支える事例やロールモデルの報告を中心とする情報共有なども意味があると思われる。〈高等教育コンソーシアム信州〉・各企業での女性の就業に関する取組の紹介 〈高等教育コンソーシアム信州、私立短大協会〉・県内中・高・大学生への男女共同参画、キャリアデザイン教育の支援策 〈私立短大協会〉・行動計画を策定していない企業を啓発するため、行動計画を策定している企業を公表してほしい。〈市長会〉